

車いすハンドボール 美浜で日本代表合宿

9月に世界選手権

9月にエジプト・カイロで開催される「車いすハンドボール世界選手権」に向けた日本代表チームの強化合宿が22日、2日間の日程で美浜町の日本福祉大美浜キャンパスで始まった。

世界選手権への出場は初めてで、合宿には20〜50代の男女約20人が参加。今回が最終選考会となり、10人ほどの派遣メンバーが決まる。

選手たちは車いすの操作やシュートといった基礎の技術と、実戦形式の練習をした。シュート練習では投げける前に1回転したり、視線と違う方向に投げたりと、工夫しながら目いっぱい力でゴールを狙っていた。



力を込めてシュートを打つ選手③＝美浜町の日本福祉大美浜キャンパスで

金田鐘福監督(71)は「目指すところは優勝。全力でプレーし、全国に競技の知名度を広めたい」と意気込む。日本車椅子ハンドボール連盟は、世界選手権出場に向けた費用をクラウドファンディングサイトで募っている。



イト＝QRコード

で募っている。